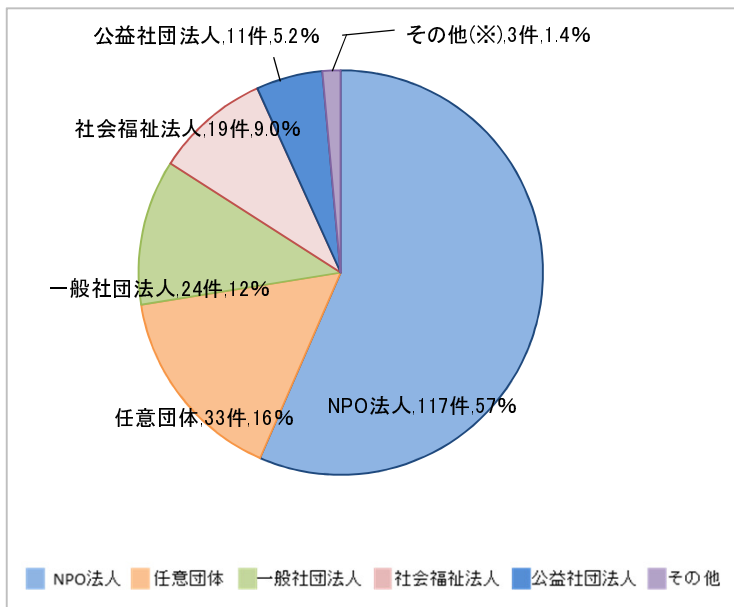


「赤い羽根福祉基金」第2回(平成29年度)助成 応募状況(概要)

中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」第2回(平成29年度)助成に新規に応募のあった、の応募主体別、応募事業別、応募部門別などの概要は次のとおりです。

(1) 応募主体別

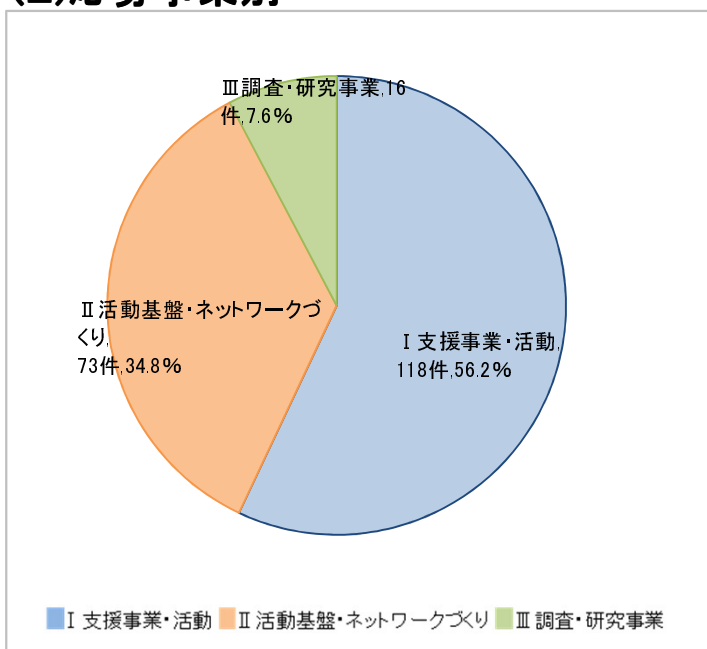


団体種類	申込数	
NPO法人	117	55.7%
任意団体	33	15.7%
一般社団法人	24	11.4%
社会福祉法人	19	9.0%
公益社団法人	11	5.2%
その他(※)	3	1.4%

(※) 医療法人社団・株式会社等

応募主体として最も多かったのはNPO法人(55.7%)でした。次いで、任意団体(法人格を有しない団体)(15.7%)、一般社団法人(11.4%)となっています。

(2) 応募事業別

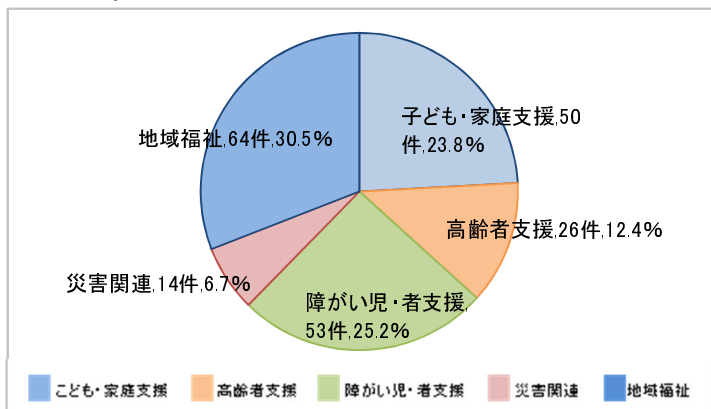


部門	申込数	
I 支援事業・活動	118	56.2%
II 活動基盤・ネットワークづくり	73	34.8%
III 調査・研究事業	16	7.6%

(※) 複数事業での応募・未記入は事務局で1事業に整理

応募事業別では「I 支援事業・活動」(56.2%)が最も多くなっています。

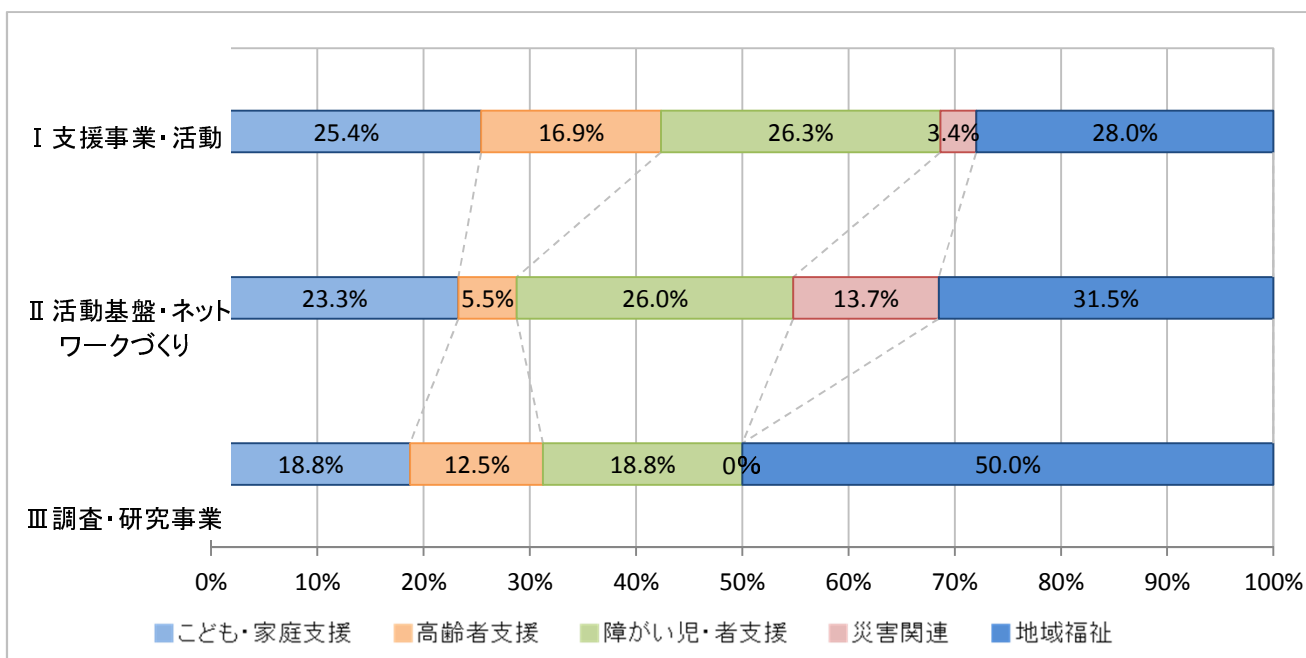
(3)応募部門別



部門	申込数	
子ども・家庭支援	50	23.8%
高齢者支援	26	12.4%
障がい児・者支援	53	25.2%
災害関連	14	6.7%
地域福祉	64	30.5%

最も多い部門は「地域福祉」(30.5%)、次いで「障がい児・者支援」(25.2%)となっています。

(4)「応募事業」×「応募分野」別



応募事業 \ 応募分野	子ども・家庭支援	高齢者支援	障がい児・者支援	災害関連	地域福祉
I 支援事業・活動	30	20	31	4	33
II 活動基盤・ネットワークづくり	17	4	19	10	23
III 調査・研究事業	3	2	3	0	8

応募事業と応募分野別による状況を見ると、応募数では応募事業「I 支援活動・事業」における「地域福祉」の応募が最も多くなっています。

また、全般的にどの分野も「I 支援事業・活動」の応募が多くなっていますが、災害関連のみ「II 活動基盤・ネットワークづくり」が多くなっています。